

2017年度 学校法人 三幸学園 東京未来大学福祉保育専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 小平 香織

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 橋本 忠幸

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、福祉保育分野の学校として「福祉・保育現場に貢献することで、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、福祉保育分野として「豊かな人間性と確かな技術で、関わる人に、幸せや希望を提供できる人」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

・出席率の向上、退学率の低減に向けて全教職員へ周知。

保育科 1年生 6.1%(一昨年9.6%) / 2年生 5.7%(一昨年3.1%)

介護科 1年生 73.5%(一昨年20.0%) / 2年生 56.5%(一昨年12.5%)

② 学校関係者評価委員会コメント

・前年度内容をご把握いただいた。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	2
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・保護者に対する周知を意識的な発信ができていない。

③ 今後の改善方策

- ・入学前オリエンテーションで必ず伝える。
- ・今年度の学生に対しては、夏前のHR等で伝える。
- ・教職員に対しては、全体会議で再度周知徹底をはかる。
- ・担任からの電話や、郵送物送付時に周知するような手段を検討したい。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

保護者に対する理念周知対策について

飛鳥未来高等学校 綾瀬キャンパス 市川キャンパス長(以下、市川キャンパス長)

当校では生徒全員が集まることは年に5回しかないので、情報発信として保護者へ年4回ほど書類の送付をしている。学年は関係なく書類を作成し、学校のイベントやレポート提出日などを詳細に記載している。家族関係が良好でない場合もあるので、重要なものに関しては学生への配布と保護者への郵送を併せて行っているの、参考にしては？

ぼけっとランド綾瀬 上原園長(以下、上原園長)

当園では、入園式で理念を明確に伝えているので、年度始めのタイミングで周知しては？また、毎月の園だよりでも保護者へ園の現状やイベントを知らせている。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	2
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

・保育科、介護福祉科の学科の壁が大きく、学校としての運営方針が見えづらかった。

② 今後の改善方策

・学科の壁を越え、それぞれが情報を共有し、協力し合うことで、1つの学校としての意識をより一層高めていく。
・ミッション・ビジョンを全教職員に浸透させ、一体化を図る。

③ 特記事項

③ 学校関係者評価委員会コメント

運営方針の明確化について

杜の癒しハウス 文京関口 柳沼施設長（以下、柳沼施設長）

当施設では、「家族の困難を希望に変える」というミッションを掲げ、イレギュラーなことが起きた際には毎回このミッションに照らし合わせて問題解決している。職員と利用者から見える玄関にミッションとビジョンを張り出しており、月1回全体研修を行い全員に浸透させることを徹底している。（会議でミッションビジョンの復唱をランダムに指名するなどもしている）実際に浸透できているので、取り入れてみては？

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

・人材育成目標に向けた授業を行うにあたり、教えるレベルの差がまだある。

② 今後の改善方策

・お互いに授業見学にいける週間をつくり、授業力向上に役立てる。

・成績評価・単位認定の基準は明確になっているが、今後シラバスのフォーマットを変更しその中にも成績評価も盛り込む予定になっている。

・教員が現場を経験する必要性を感じたため、希望する教員がいれば、癒しの里・こどもみらい園・ぼけっとランドにご協力いただき、現場体験の場を提供する。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

学校に求める教育について

上原園長

当園では、保護者の方と関わる機会が多いため、コミュニケーション能力を求める。教科書の知識に加えて、現場ですぐに使える実践的な知識を伝えて欲しい。(具体的に冷凍哺乳の解凍方法など)

柳沼施設長

教科書と現場のギャップを教員から伝えて欲しい。

東京未来大学こどもみらい園 齊藤園長(以下、齊藤園長)

在学中に子どもたちや高齢者の方と出来るだけ多く関わるなど現場に触れていて欲しい。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

・介護福祉科の退学者は2名、保育科は8名と前年と同数。

② 今後の改善方策

・早期の個人面談や保護者への電話連絡、各教科間との連携も踏まえて、本人・保護者・学校が三位一体となり、進級や卒業へと導くように努める。

③ 特記事項

・保育科、介護福祉科ともに就職希望者2年連続就職率100%であった。
・卒業生の就職継続率を調査したところ81%であった。

④ 学校関係者評価委員会コメント

退学率改善について

市川キャンパス長

通信制の学生は自分で通学するスケジュールを決められるため、拘束時間が長くなる専門学校への入学はギャップを感じる状況は多々ある。改善方法は人によって異なるが、学校へ通うことの意味をしっかりと明確化させる必要がある。専門学校は目指すべき分野があって入学してきているため、その道への意欲を取り戻すなど工夫すれば、アプローチはしやすいのでは？

柳沼施設長

本人しか出来ない役割を与えてあげると良いのでは？通う意味や、目的をはっきりとさせることで改善された例がある。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

・高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが、まだ十分ではない。

② 今後の改善方策

・専門学校が高校等にできる提案(専門学校への学校見学ツアー等)をしていく。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

飛鳥未来高等学校との連携及び学生相談について

市川キャンパス長

全員が集まる機会が少ないため、総合学習での関わりなど、現状の施策が最大だと感じている。総合学習への専門学校教員の参加などは引き続き行っていきたい。

齊藤園長

目的を持って進学することが大切。ただなんとなく進学したという学生に対してモチベーションアップのサポートは必須だと思う。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・施設内の別部門との連携。
- ・防災等の情報共有の徹底。

② 今後の改善方策

- ・発達支援についての学び、学習のアウトプット、園児たちとの関わりなど、双方向的に利益となるように各部門との連携を進めていきたい。
- ・防災管理体制の整備を進めていきたい。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

上記内容にて承認。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・教育成果を正確に伝えきれていない。

② 今後の改善方策

・複合校舎であることや少人数制で学べることの魅力をより積極的に伝え、本校をブランディングしていく必要性がある。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

上記内容にて承認。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

上記内容にて承認。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

上記内容にて承認。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

【上記のうらづけ】

駅から近く、わかりやすい、最新で最高の設備を利用できる。

その特性を生かして

保育発表会、チャレンジヨガ、オープンキャンパスのイベントなど、
地域の方たちを巻き込む活動をしている。

地域からの誘いを受け、施設、園での行事等にボランティアとして多く参加している。

ハローワークからの委託訓練生や留学生を受け入れたり、
福祉関係や救命の資格取得の講座など、地域の希望者にも声をかけて行っている。

① 課題

「福祉」「保育」の分野を現在利用している人に限らず、
未来に利用する可能性のある人、興味がある人、興味を持つきっかけとなれるよう、
広く一般の方も参加できる取り組みも検討したい。

② 今後の改善方策

以前行った福祉関係の映画の上映など、
学校の設備を活かし、参加しやすい行事から企画することで、課題のような対象者にも参加しやすく、
喜んでもらえる交流の場を提供することが可能と思われる

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

イベント案

上原園長

保育園では、毎月お誕生日会を行っているので、学生や教員からも何か出し物をするのはどうか。実習では
経験出来ない日常的な保育に関わることは必要な経験である。

柳沼施設長

自宅で介護をしているご家族のために介護実習室を使用したレクチャーをするのはどうか。家での対応が分
からないという声も頂いているため、地域の方にも喜ばれるはず。

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	4

① 課題

語学不安の解消。

② 今後の改善方策

SANKO 日本語学校と連携し、日本語の授業を行っていきたい。現在は留学生のアルバイトもあり、実施できていないので、時間的都合等も勘案し、運営していけるようにしていきたい。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

上記内容にて承認。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・現場に入った際、すぐに動ける力を伸ばしていく必要がある。その為には、教職員が現場を知っていることが必要なので、その点も考慮した研修などが実施できるといい。
- ・保育に関して、5歳児は翌年からの学校教育を視野に入れた学びをするなど、カリキュラムの中でも、保育園から小学校に進学する課程も視野に入れていく必要がある。

以上